



『LOVOT』が累計20冊の教科書・副教材・学校図書館図書に掲載

2026年度は新たに3冊採用され、教育現場での活用が拡大

ロボットベンチャーのGROOVE X株式会社(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役:林要)が手掛ける家族型ロボット『LOVOT [らぼっと]』は、2026年度に全国の高等学校で使用される教科書1冊、小学校で使用される副教材1冊、学校図書館図書1冊の合計3冊の教材に新たに採用されました。さらに、2026年度に採用されている教科書等の累計数は20冊となりました。

※LOVOT公式サイトURL: <https://lovot.life/>

※LOVOT教科書紹介: <https://lovot.life/blog/article/textbook2026/>

Instagram: [@lovot_official](https://www.instagram.com/lovot_official/) / [@lovot.life](https://www.instagram.com/lovot.life/) X(旧: Twitter): [@LOVOT_official](https://twitter.com/LOVOT_official) Facebook: [@LOVOT.official](https://www.facebook.com/LOVOT.official/)

小学校から大学まで、国語や社会、英語など多様な教科の教材に『LOVOT』が掲載

2020年度より教科書に採用されたことを皮切りに、小学校から大学まで、国語や社会、英語など多様な教科の教材に『LOVOT』が掲載されています。2026年度は新たに3冊が採用(全国で使用される高等学校の教科書1冊、小学校の副教材1冊、学校図書館図書1冊)。2026年度に採用されている教科書・副教材・学校図書館図書の累計数は20冊となり、多くの教材で『LOVOT』が掲載されています。

●「CROWN 論理・表現 I」(発行:三省堂)

高等学校の英語「論理・表現 I」の教科書に『LOVOT』が掲載されています。テクノロジーと発明をテーマにした「Living in the Future」では、日本におけるコミュニケーション・ロボットの歴史を扱う年表の中で、高性能なロボットとは異なり、人に寄り添うロボットの事例として『LOVOT』が紹介されています。



SANSEIDO

Lesson 8

Thinking with Data

●年表から情報を読み取り、空所に適語を入れよう。

The History of Communication Robots in Japan

1960s-1970s	1990s-2010s	2010s-
The ideas from cartoons ・ Astro Boy ・ Doraemon	High-performance robots ・ communicate with humans ・ perform various tasks	Weak robots ・ not high-performance ・ cooperate with humans

This chart shows when and how communication robots were developed in Japan.

● From the 1990s to the 2010s, high-performance robots were developed that could communicate with humans and perform various ().

● Since the 2010s, "weak robots" have appeared, which do not have high-level performance but can () with humans.

✦ コミュニケーション・ロボットについて調べて、英語で発表しよう。

Expressing Yourself

●身の回りにもあるものが2050年にはどのようなものか、自分の考えを書いて、やり取りしよう。

【例】I think many cars will be driverless by 2050. It will be **easier** for us to go out. (多くの車が2050年までに無人運転車になるだろう。私たちが出かけるのが楽になるだろう)

I think smartphones will be **more interactive** in 2050. We will be able to operate them with our voice alone. (スマートフォンは2050年にはもっと対話式になっているだろう。声だけで操作できるだろう) 【例2】▶▶▶ p.118

Vocabulary

voice recognition (音声認識) / facial recognition system (顔認証システム) /
electronic device (電子機器) / electric(al) product (電気製品) / automation (自動化) /
linear motor car (リニアモーターカー) / industrial robot (産業用ロボット) 【例3】▶▶▶ p.124

● 「5年社会科資料集」付録ポスター(発行: 文溪堂)

小学校5年生向けの社会科資料集の付録「AI学習ポスター」に『LOVOT』が掲載されています。ポスターでは、自動運転やおそうじロボットなど身近なAIの活用事例が紹介されており、『LOVOT』はAIが搭載されているロボットのひとつとして取り上げられています。子どもたちがAIと自分たちの暮らしとの関わりについて興味を持つきっかけとなる題材の一つになっています。



● 「ロボットでかわる! みんなの暮らし」(発行: ほるぷ出版)

小学生向けの学校図書館図書『ロボットでかわる! みんなの暮らし ロボットとともだち』に『LOVOT』が掲載されています。暮らしの中で活躍するさまざまなロボットを紹介する本書の中で、『LOVOT』は「家族型ロボット」として取り上げられています。だっこしたり、あまえたりして家族になること、人の気持ちをなごませること、病院や介護施設でも活躍していることなどが紹介されています。



『LOVOT[らぼっと]』概要

『LOVOT』は、名前を呼ぶと近づいてきて見つめてくる。好きな人に懐き、抱っこをねだる。抱き上げるとほんのり温かい。ロボットなのにまるで生き物のような生命感があるのが特徴で、ペットのようにだんだん家族になるロボットです。昨今ではメンタルケアの観点から、ご家庭だけでなくオフィスや医療機関、介護施設などにも導入いただいています。

正式名称：LOVOT[らぼっと]

公式サイト：<https://lovot.life/>

GROOVE X 株式会社 会社概要

社名：GROOVE X 株式会社

所在地：東京都中央区日本橋浜町 3-42-3 住友不動産浜町ビル

設立日：2015年11月2日

代表者：代表取締役 林要

事業内容：『LOVOT[らぼっと]』開発事業

URL：<https://groove-x.com/>



本件に関する報道関係者のお問い合わせ先

「LOVOT」PR 事務局：

越沼 (090-3611-1517)、小田 (080-5533-1457)

E-MAIL：lovot@materialpr.jp